

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会で用いられている AI 等のテクノロジーが持つ機能や役割、実例などの基礎的な情報を自分の言葉で説明することができる ・簡単なプログラムを使って実際に AI を動かすことができる <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的課題について調べ、AI 等のテクノロジー活用した解決方法を提案することができる ・AI が人々、社会にとって正しく活用されるための倫理的判断をすることができる ・テクノロジーが人間個人、社会に与える影響を考察することが出来る ・上記事項について、他者に適切に提示/説明することができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI や新たな技術開発、イノベーションについてより深く知ろうとし、それをういて解決しようとする姿勢を持つことが出来る ・社会的課題に向き合う中で、AI などに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、人間の本来の生き方について追求することができる 	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① AI とはどのようなシステム、プログラムで成りたっているのか。AI についての概要を説明できる。 ② 社会で利用されている AI の活用例について知る。 ③ AI に関係するプログラミングについて学び、操作できる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① SDGs の到達目標達成のため、身近にある解決すべき具体的な課題について現状や原因などを総合的に述べるができる ② SDGs 到達目標達成のため、身近にある解決すべき問題の解決策を考えることができる ③ 解決策において AI の特性を理解して解決策を考えることができる ④ グループの考えを他のメンバーにわかりやすく示すことができる ⑤ 他のグループや個人の意見に対して、本質的な質問や議論ができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 個人の考えをグループで共有しグループとしての考えに昇華・統合できる ② AI の利用により発生する倫理的問題について理解し、本質的な議論や対策の検討ができる。(自由やプライバシー、人権などの概念との関連性) 	

授業日	9/26(火)	2 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤ 【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・ 図形を認識する AI ブロックを用いてどのようなアプリができるのかを考える。 ・ 実際にプログラムを組むためのアイデアを共有して具体化することができる。		
時間 授業内容	10 分 30 分 40 分 90 分	関西学院大学工学部情報工学課程の学生より図形を認識する AI について説明 各自 PC のセッティングと scratch の説明動画にて作業についての説明 大学曰波教授より本授業の目標について説明（オンラインにて） 画像認識の AI ブロックを用いて具体的にどのようなプログラムを作成できるか 3 人一組で話し合い。次回作業に向けてアイデアを固める。	
評価方法	今回は途中経過のため第 3 回目の各班のアプリ発表内容にて評価予定		
宿題指示	次回 scratch にてプログラムを組むためのアイデアについて班でまとめておく。		